

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2022年9月号(第93号)



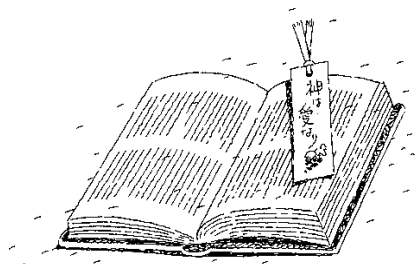
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市臼井田 774-83

mail:isaku.sakura.church@gmail.com

HP : http://sakura-fukuin.com



今月の聖書のことば

「弟子たちはイエスに尋ねた。「先生。この人が盲目で生まれたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。両親ですか。」イエスは答えられた。「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。この人に神のわざが現れるためです。」

【ヨハネの福音書9章2～3節】

仏教用語に「因果応報」という言葉があります。辞典では「過去および前世の行為の善悪に応じて現在の幸・不幸の果報があり、現在の行為に応じて未来の果報が生ずること」とありますが、このような考え方は広く浸透しているように思います。「バチがあたる」「日頃の行いが悪いから」という表現にも見られるように、私たちは様々な出来事に因果関係を見出そうとします。確かに「原因」と「結果」が明らかな場合もあります。例えば、暴飲暴食を重ねたことで病気になる、スピード違反をしたことで事故を起こす、などがそうです。しかし、全ての出来事が「因果応報」で説明がつくわけではありません。先天的な障がいや不治の病を負って生まれてくる方々を、私たちはどのように考えたら良いのでしょうか。「因果応報」と言えるのでしょうか。

今月の聖書のことばは、今から約2000年前のエルサレムでのやり取りです。イエス

様と弟子たちは歩いていると「生まれたときから目の見えない人」に出会いました。弟子たちはイエス様に「先生。この人が盲目で生まれたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。両親ですか。」と尋ねます。これはまさに因果応報的な考え方です。「目の見えない人」に対して「この人」か「両親」が罪を犯したからこの状態にある、と弟子たちは考えました。弟子たちが「あわれみの心」を持つよりも議論の対象にしようとした時点で酷い言動と言えますが、それに対してイエス様は次のように返答されました。「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。この人に神のわざが現れるためです。」イエス様は因果応報的な考え方を否定し、この人が盲目で生まれたのは、本人や両親の罪が原因なのではなく、「この人に神のわざが現れるため」と言われました。実際この後でイエス様はこの人の目を見えるようにされました。

私たち家族のことで恐縮ですが、今年 5 月に養女を迎えました。その子は 2 歳 9 ヶ月で我が家に来たのですが、障がいを抱えています。3 歳になった今も自分で歩いたり、話したり、食べたりすることもできません。今のところコミュニケーションをとることはできず、娘が何を考えているのか読み取ることはなかなか困難です。嫌なこととは分かってきましたが、何を嬉しく思っているのか、喜んでいるのか、いまだに把握できていません。その状態は娘にとってもストレスでしょうし、私たちにとってももどかしさがあります。時に苛立ちを覚えてしまう自分が嫌になり、愛のなさを痛感することも度々です。このようなとき、イエス様が語られたみことばは一つの励ましになります。娘や産んでくださった方が何か罪を犯したからこうなっているのではなく、娘を通して「神のわざが現れる」のです。その日がいつ来るのか分かりませんし、いや、実はすでに神のわざが現れているにも関わらず鈍感な私が気づけていないだけかもしれませんが、その日が来るのを見られると期待できることは慰められます。私

たちは「障がい＝不幸」と考えやすいですが、神様が人を造られたと信じる時、果たしてそのような図式が成り立つのでしょうか。神様は、私たちが不幸と考える現実の中でも豊かにみわざをなすことがお出来になり、ご自身の栄光を現されます。それがどのような形でなされるのか、今の私には分かりません。しかし私たちがキリストを知り、キリストに出会うことによって、悲観的に思える事ごと「神の栄光が現れる」と覚えられるのは、幸いなことであり慰めです。私たちがキリストを知る時、様々な出来事の見方が変えられていきます。ぜひ、キリストを知ってください。

◆牧師のコラム

今回の「今月の聖書のことば」は自分へのメッセージとして受けとめています。愛のない自分がかかりし、娘の将来を案じては不安になることもあります。牧師といえども弱さを抱えた一人の人間であり、不足を感じます。子どもを喜ばせたいと思っても、それが分からないときにしんどさを感じることも事実です。しかし、今月の聖書のことばは、そんな私にとって神様からの一つの慰め、励ましとして受けとめています。私たちは障がいや病気が癒されることだけが「恵み」だと考えやすいですが、聖書の観点ではそれだけが「恵み」なのではないと教えられます。更に聖書のことばに生かされていきたいと強く願います。

～集会案内～

- 日曜日：第一礼拝 9:00～ 第二礼拝 11:00～ ○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
教会学校 10:10～10:40 (子どもは第二、第四週目、大人は第三週目) 19:30～21:00
- 毎月第 2 火曜日：ユニケの会 9:00～12:00 (子育てなどを行っている方のための集い)
- ★サクサクチャンネル (YouTube) もぜひご覧ください。教会の HP から見ることができます。

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、旧統一協会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。